

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 腎代替療法導入を予測するスコアの前向き妥当性検証およびバイオマーカーとの性能比較』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 総合診療救急医学講座 救命救急センター 職位・氏名 講師・鈴木銀河

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は腎代替療法(血液透析)の導入基準を満たす患者さんを事前に予測するためのスコアを開発することを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、血液透析が必要になるであろう患者さんを入院時に特定し、適切な腎代替療法を実施することで多くの患者さんの命を救うことにつながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報:年齢、性別、体格、病歴、診療の治療歴、血液データ、尿中データ(Liver-type fatty acid binding protein, L-FABP 濃度、Neutrophil gelatinase-associated lipocalin, N-GAL 濃度)など
研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2025年8月より利用を開始します

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 酒井謙

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2025年8月から当院ICUに入院し、急性腎障害を発症した方。対象の期間は設定していませんが、200例集まるまで最大3年間継続します。

方法:カルテから抽出したデータを解析します。

ICUに入院し、急性腎障害を発症した方に通常診療で測定するデータのみを扱うため、研究参加によって新たに収集するデータや追加で行う医療行為などはありません。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大森病院 研究代表者: 鈴木 銀河 役職: 講師

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2028年6月30日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター

職位・氏名 講師・鈴木 銀河

電話 03-3762-4151 内線 77366